

# 市長さん出席

## 町並み懇話会

佐原の町並み保存は、国の選定を受け、新たなまちづくりに向けての方向づけを模索するため、11月17日、佐原市中央公民館において「町並み保存懇話会」を開きました。当日は、地区住民を始め50名余の参加を頂き、日頃考えている意見を聞くことができました。

### 大河先生の基調講演

「町並み保存とその活用事例について」という題で、先進地の事例と佐原への思いを語っていただいた。

・佐原の重伝建地区選定おめでとう。長い期間にわたる住民団体と行政の努力の実りである。

・歴史的町並み保存の価値の基本は、精神的な価値にある。地域にとっては人と人を結びつける象徴である。

・重伝建地区は、保存に最も優遇された制度である。しかし、制度以上のものではないので自助努力が必要です。

・住む人に楽しく、訪れる人にも楽しい町並みを皆で考えよう。

・精神的なものだけでは保存できないので、そのための工夫、特に歴史的建物の活用が必要である。

・地区全体としての工夫（①空地进行を減らし住む人を多く ②親切なガイド ③地区に足りない施設の補充）がいる。

・佐原祭りを活かしたイベントを提案。

・これからのまちづくりは、保存と開発を共に視野に入れ考えることが必要。

・町並み保存の推進力は、多くの住民がそれらへ参加することにある。

佐原の町並み

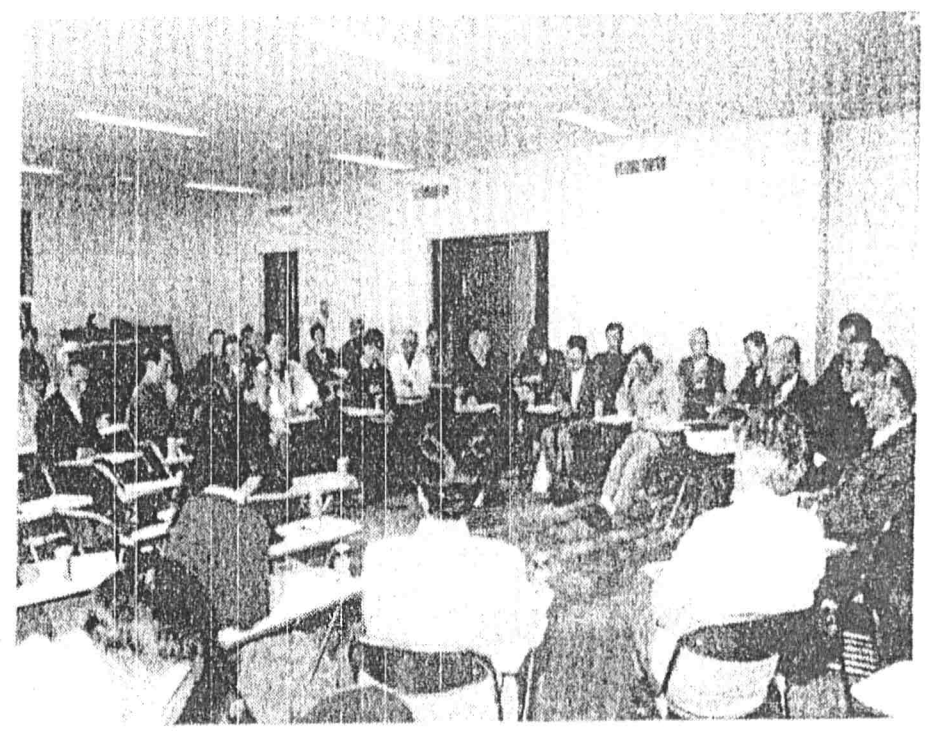
# かわら版

第8号

平成8年12月

・小野川と佐原の町並みを考える会

・佐原町並み保存会



### 懇話会の内容

大河先生の講演を基にまちづくりのアイデアを話し合う。

#### 佐原の保存の方向は？

・ここで商売し、生活していきたいので、単なる保存でなく活性化の方向を選びたい。次世代に引き継ぐ時、斜陽の地であってはならない。

・伝建地区だけでなく、隣接した地域も含め、一体の活性化を望みたい。

・小野川沿いは素晴らしい景観がある。歴史的な町並みと観光を大切に育てていくことが必要

まちづくりのアイデア  
・佐原のまちは迷路で不案内、簡単でもよいから工夫したマップが欲しい。

・道が分かりにくいので、塀などに地名の表示をしてはどうか。

・開運橋の鯉の彫刻は、地域のアイデンティティを象徴するもので、文化性が高く魅力を感じる。忠敬橋の歩道橋もそんな意味から撤去していただきたい。

・ゴミのない町、ポイ捨てのない町を考えたい。

・地域の掃除をしたり、案内をしたりする住民団体が欲しい。

・建設省や国の機関が、歴史的文化遺産を大事にするようになった。佐原の方針を示せば協力していただけ。

・町並みを考える会以外の種々な活動団体が出来て欲しい。

#### まとめ

・トイレを造って欲しい。  
まちづくりの基本は、多くの市民が参加して、工夫しあうことにあります。皆さんも参加して、まちづくりにご協力ください。